



少しずつ視界が広がる蕪栗沼の陸地化部分

**湿地本来の生態系を守るため(田尻)**

3月4日、蕪栗沼で「野火つけ」が行われました。面積約100ヘクタールの内、4割が水面ですが、6割は土砂の流入や植物の枯れたものなどが堆積し、陸地化が進んでいます。外来植物やその他陸地性植物の進出も見られ、湿地本来の生態系の維持が困難になってきたことから、立ち枯れのヨシや雑木などの伐採と野火つけを行ったものです。

消防団やNPOの皆さん、市職員が四方から火をつけて歩き、水辺が一望できるほど開けた部分もできました。世界に名立たる蕪栗沼本来の環境を呼び戻すための第一歩です。



いつか役立つ時のために

**自主防災組織「普通救命講習会」その後の生存率に大きなちがい(松山)**

3月4日、青少年交流館を会場に自主防災組織の「普通救命講習会」が行われました。松山地域には、行政区単位に29の自主防災組織が結成されていて、避難訓練や情報伝達訓練、防災マップ作成などを自主的に行っています。

今回は、古川消防署の指導のもとに、心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)の使用法を学びました。参加者の半数以上が初めての訓練でしたが、講習後には「一度経験していれば万が一のときの対応がまったく異なると思う。より多くの人に受講してほしい。」という声も聞かれました。

2月24日、鹿島台中央児童館で「第4回おもしろ児童館たのしいマジックショー」が行われました。児童館をもっと多くの子供たちに利用してもらう機会にと開催されたもので、栗原市のマジシャン菅原敏充さんが、ハンカチやロープ、新聞紙などを使った見事な手品を披露し、子供たちから、驚きの声と大きな拍手が送られました。

子供たちには、トランプを使った手品も伝授されたので、この日の夜は、参加した子供たちの家庭で、ミニマジックショーが見られたかもしれません。

**第4回おもしろ児童館「たのしいマジックショー」**  
**ぼくも今日からマジシャン(鹿島台)**



トランプマジックしっかり覚えられたかな?

2月28日、上野目小学校で「はなむけの舞」が行われました。代々、6年生が下級生に指導する形で伝承してきた上野目神楽「鶏舞」。その指導の成果を、今年卒業する6年生14人に見届けてもらうとともに、在校生からはなむけとして、57人の下級生全員で鶏舞を披露しました。

頼もしく学校を引っ張ってきてくれた6年生のあたたかさも真剣な眼差しに見守られ、この日、伝統という名のバトンが下級生にしっかりと手渡されました。

卒業生の皆さん中学校でもがんばってください。

**上野目小学校「はなむけの舞」**  
**伝統をしっかりと受け継ぐ(岩出山)**



6年生が見守るなか上野目神楽「鶏舞」を舞う下級生たち



東北弁の漫才にみんなで大笑い

**ちょっと早い春まつりだよ! 楽集発表会**  
**楽しく地域づくりの輪を広げよう(三本木)**

2月25日、三本木総合支所を会場に、「ちょっと早い春まつりだよ! 楽集発表会」が行われました。三本木まちづくり協議会が企業やボランティアと連携してまつりを開催することでお互いを知る機会とし、地域づくりの輪を広げながら、地域を代表するまつりに育てていくための第一歩として開催されたものです。

東北弁の漫才や落語、各団体のステージ発表・展示のほか、飲食・喫茶など、盛りだくさんの内容で、笑顔と会話が絶えない楽しい一日となりました。



人生を楽しく生きるコツを熱く語るなべおさみさん

**第25回古川公民館まつり**  
**日ごろの活動の成果が一堂に(古川)**

3月11日・12日の2日間、古川公民館を拠点に生涯学習に取り組むサークルや団体の、年に一度の発表の場「第25回古川公民館まつり」が、古川公民館を会場に開催されました。恒例の生涯学習講演会には、タレントのなべおさみさんを講師に迎え、「困難も笑いで乗り越えて」と題して、自身の体験をユーモアたっぷりに語り、会場は笑顔と感心の声であふれました。活動発表では、展示コーナーや体験コーナーのほか、ふれあい音楽祭、ダンスパーティーなど多彩な内容で、訪れた人々を楽しませてくれました。



庄子真理子さんとさとう宗幸さんの美しいハーモニー



スキーヤー、スノーボーダーの皆さんに感謝

**元気で鬼首! そしてありがとう**  
**負けない気持ちと感謝の心伝えたい!(鳴子温泉)**

2月17日に発生した土砂崩落によって全面通行止めとなった国道108号。鬼首地区住民の往来に大きな支障となり、スキー客も激減しました。そんな状況にあっても「鬼首は災害なんかには負けないぞ」という気持ちを多くの人に伝えたいと、地区の有志により「元気で鬼首」実行委員会が組織され、3月10日・11日の両日、オニコウベスキー場レストハウスを会場に『元気で鬼首! そしてありがとう』を開催しました。

10日は、鬼首に縁の深い、歌手のさとう宗幸さんが、鬼首のためならと所属音楽事務所を挙げてのコンサートを行ってくれました。さとう宗幸さん、高橋佳生さん、庄子真理子さんたちの心のこもった数々の歌が、訪れた地区住民を大いに励ましてくれました。

11日は、スキー場に来てくれた皆さんに感謝の気持ちを込めて、鬼首地区の特産品などがふるまわれたほか、秋田県や山形県の鳴子に隣接する市町からも支援の人たちが駆けつけ、持参した地元の名産品をいっしょにふるまってくれました。

イベントを通じて、人のあたたかさ、支えあうことの大切さを実感させられた、素晴らしい2日間となりました。